

事項二 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領

一〇〇 一月五日

在仏國奧山臨時代理大臣宛（電報）
内田外務大臣宛（電報）

独国外相ノアソシエーテッドベルリン通信ニ
ナシタル声明ニツキ仏國ノ意見米國ニ伝達方
ニ闇スル件

第一五号

（一月六日接受）

独逸外相ノ Associated Press 伯林通信ニ為シタル声明ニ
付「ポアンカレー」ハ右声明ノ概要ヲ米國國務卿ニ伝フル
ト共ニ左ノ通申添フル様在米仏國大使ヘ電報セル趣發表セ
ラル

一、独逸ハ外相ノ云フカ如ク其ノ賠償義務完了前ニ萊因左
岸連合國占領軍ノ撤退ヲ明カニ目的トスルモノトス

二、独逸カ國際連盟加入前ニ「ヴェルサイユ」条約ノ拘束
ヲ免レムトスルカ如キ又今日仏國ヲ攻擊スルノ自由ヲ有
スト云フカ如キ主張ヲ為スハ非理ノ甚シキモノナリ

三、不侵略規約ノ結果ハ独逸ハ其ノ旧領域ヲ恢復シ歐州ニ
霸ヲ唱ヘムカ為波蘭「チエツコ」ノ小連合國ノミナラズ
中立國タル丁抹ヲ侵略スルノ自由ヲ有スルニ至ルヘシ他

提議ヲ為シタリ國務卿ハ先ツ右提議ニ（脱）有スルコト明
白トナルニアラサレハ之ヲ關係國ニ通牒スルハ面白カラス
ト思考シタルヲ以テ非公式ニ仏國政府ノ意向ヲ質シタル所
仏國憲法ノ下ニ於テハ右協定ニ入ルコト能ハサル旨ノ通知
ニ接シタリ

一〇一 一月九日

在仏國奧山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

仏國ヘノ石炭引渡不履行確認ヲ賠償委員会決

議ノ件

（一月十日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督
促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未
到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論
ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ
於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的
ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説
ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督
促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未
到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論
ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ
於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的
ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説
ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

シ第二付屬書第十七項ノ不履行ヲ確認スルコトニ決議セリ
（編註）
在歐米各大使「ロザンヌ」ヘ転電セリ

編註 対独平和條約第八編賠償第二付屬書十七

「独逸國本編規定ノ義務ヲ履行セサル場合ニ於テハ
委員会ハ速ニ之ヲ關係各國ニ通知シ且右不履行ノ為
執ルヘキ行動ニ付必要ト認ムル建議ヲ為スコトヲ
得」

一〇二 一月九日

在仏國奧山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

仏國ヘノ石炭引渡不履行確認ヲ賠償委員会決

議ノ件

（一月十日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

於テ英國委員ハ不履行ノ理由ハ独逸委員陳述ノ如ク物質的

ニシテ何等独逸側ニ故意ナシトナセルモ伊、白ハ仏國ノ説

ヲ認メ結局三対一二テ賠償委員会ハ仏國ヘノ石炭引渡ニ闇ス

シ第一五号

（一月十一日接受）

仏國政府ハ一月十五日ノ仕込期限ヲ俟タス石炭引渡ニ闇ス

ル故意不履行確認ニ闇スル賠償委員会ノ決議ヲ機会トシテ

取急キ単獨行動ニ出テムトシ「バルツー」ニ対シ其決議ヲ督

促シツツアル所独逸側ハ八日ノ意見陳述ニ於テ専門家中未

到着

到着ノ者アルヲ理由トシ延期ヲ求メタリ賠償委員会ハ討論

ノ末九日前迄之ヲ許容スルコトシタルカ九日ノ會議ニ

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一〇四 一〇五

一五六

右措置ハ「ヴェルサイユ」条約第八編第二付属書十八^(編註)に基キ執リタルモノニシテ仏國トシテハ何等軍事的行動

(Opération d'ordre militaire)又ハ政治的占領(Occupation de caractère politique)ヲ意味スルモノニ非ス

独逸政府ニ於テ右措置ノ実行ヲ阻害セラレサラムコトヲ

希望ス

在歐米各大使ヘ転電セリ

編註 対独和平和条約第八編賠償第一付属書十八

「独逸國カ故意ニ履行ヲ怠リタル場合ニ同盟及連合國カ執ルノ權利ヲ有スル措置ニハ經濟上及金融上ノ禁止及報復其ノ他一般ニ各該國政府ニ於テ事情ニ応シ必要ト決定シタル措置ヲ包含ス独逸國ハ右措置ヲ以テ戰争行為ト認メサルコトヲ約ス」

一〇四 一月十日 在ベルギー国安達大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

ベルギー国政府下院ニ於テ仏國ノルール占領

二対スル協力ヲ表明ノ件

(一月十一日接受)

巴里會議破調ノ結果白国政府ハ一月八日閣議ニ於テ仏國ノ

「ルール」占領ニ協力スルコトニ確定シ九日首相ハ下院ニ於テ從來ノ経過ヲ報告シ右態度ヲ声明セリ

ノ声明ヲナセリ

敵ハ武力ニ依リ独逸国民ノ自主権ヲ蹂躪シ我國土ニ侵入セントス吾人ハ此強圧手段ニ對シ全世界ニ向テ抗議スルモノナリ然レ共汝等ハ独逸祖国ノ為ニ暫ク此運命ヲ忍バザルベカラズ吾人モ亦汝等ニ對シ有ユル援助ヲ惜マザルベク又汝等ノ為ニ外國ノ支配ヲ短縮シ真ノ平和ニ到達スルノ途ヲ求ムルニ全力ヲ尽スベシ

英、仏、勞山ヘ郵報セリ

在獨國日置大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

ルール占領二対スル独國ノ態度ニ關シ報告ノ

件

第七号 (一月十一日接受)

賠償問題ニ関スル制裁手段ニ出ツヘキ旨ノ仏國側累次ノ声

明ニ付テハ是迄當國人カ或ハ外交上ノ懸引ト看做シ或ハ英

國ノ反対、米國ノ干渉等ニ依リ其ノ實行ニ至ラサルコトヲ

窃ニ願ヒ居タル処今回巴里會議不調ノ結果仏國カ其ノ所言ヲ断行スルコト明確トナリタルヲ見テ當國人心狼狽緊張シ來リタルハ當然ノ勢ナルカ流石ニ忍耐ト秩序ノ念ニ富ム獨

来フランス、ベルギー両國軍隊ノルール占領 一〇六 一〇七

演説要点左ノ通り

一、英國提議中連合國間ノ債務關係ヲ免除セラレ居ル白國ニ取りテハ得ル処ナクシテ失フ処大ナリ

二、英國提議中白國ノ優先権ヲ消滅セシメントスル点ハ到底忍ブベカラズ

三、近ク賠償ヲ得ザルニ於テハ白國財政ハ唯破滅アルノミ

右リ就キ「カトリック」党ヲ代表シテ前外相 Hymans 氏贊成演説

Wiart 伯、自由党ヲ代表シテ前外相 Vandervelde ハ「ルール」占領ヲ為シタルガ社会党首領 Vandervelde ハ「ルール」占領ガ平和ト正義ニ背反スル所以ヲ力説シ且國際借款賠償額減少等ノ必要ヲ力説セリ

猶白國鉱山技師數十名武府発「ルール」地方ニ向ヒ又數日前ヨリ占領準備ノ為軍隊ノ移動開始セラル

一〇五 一月十日 在獨國日置大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

獨國大統領新タニ占領セラルベキ地方ノ住民

(一月十一日接受)

二対シ声明ノ件

第六号 当國大統領ハ新ニ占領セラルベキ地方ノ住民ニ對シ大要左

逸人ノ事トテ未タ何等珍事ヲ惹起セス言論界モ亦一般ニ慎重ノ態度ヲ以テ政府ノ施措ヲ待チソツアルモノノ如シ尤モ相當強硬論者中政府ハ講和條約失効ヲ宣シテ一切ノ義務ヨリ解脱スヘシト主張スルモノナキニ非スト雖多數ノ論者ハ輕舉妄動ヲ戒メ結局解決ヲ世界ノ輿論ト正義人道ノ力ニ待ツヘシト説キツアリ政府モ此ノ趣旨ヲ以テ國民ヲ戒メ或ハ仏國等ノ無法ヲ列國ニ訴フル以上ノ事ハ為シ得サルベク非常ノ時機ニ際シ多少ノ不穏狀態發生ハ之ナキヲ保セストスルモ一般的暴動又ハ革命等ノ大事ナクシテ經過スルナラント察セラル

在英、仏大使及「ローザンヌ」全權ヘ転電セリ

ント察セラル

一〇六 一月十一日 在仏國奧山臨時代理大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

仏國軍隊ルール進入ニ關スル仏國政府公表文

要旨報告ノ件

第三七号 (一月十三日接受)

仏國軍隊「ルール」進入ニ關スル仏國政府公表文要旨左ノ如シ

仏國軍隊ハ「ルール」地方ニ於ケル管理委員及技師援護ノ

(一月十三日接受)

第三八号

為メ一月十一日午前「エッセン」方面に向ヒ同日午後三時 Ebrachausen, Gelsenkirchen, Essen, Weiden 及 Ratingen ヲ連ヌル全線ニ亘ル配置ヲ取ルヘシ同軍隊ハ歩兵二個師団 及騎兵一個師団ヨリ成リ「ライン」駐屯仏國司令官 Degoutte 将軍ノ下ニ三十三軍団長 Henrys 将軍之ヲ指揮スヘク又白國支隊モ仏國軍隊ニ同行スヘシ尚國境地方駐在ノ軍隊ヲ前記軍隊操縱応援ノ為メ両軍ヘ輸送スヘシ云々

Degoutte 将軍ハ「ルール」占領地域「ライン」河地域一帯ニ於テ布告ヲ発シ同出兵ノ目的ハ平和的ニシテ何等軍事的行動又ハ政治的性質ヲ有セスニ管理委員ヲ擁護シ其任務ノ遂行ヲ保障スルニアルヲ以テ住民ハ安シテ其業ニ從フヘク地方官憲ハ同委員ノ職務ニ便宜ヲ与ヘラレタク万一其職務執行及軍隊ノ配置ヲ妨害スルコトアラハ断乎タル処置ヲ執ルヘキ旨ヲ声明セリ

英、米、「ロザンヌ」ヘ転電シ独白伊ヘ暗送セリ

一〇八 一月十二日 在仏國奧山臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

ボアンカレノパリ賠償會議及ビルール占領

関スル議会声明ノ要旨報告ノ件

Poincaré 氏ハ一月十一日午後議会ニ於テ巴里賠償會議及「ルール」占領ニ關スル聲明ヲナシタルガ下院ハ四五二対七二ヲ以テ本件ニ關スル質問討議ヲ二月一日迄延期スベキ旨ノ提議ヲ可決シテ政府信任ノ意ヲ表シ又上院ハ右声明ヲ公衆ニ掲示スベキトヲ可決セリ

右声明ノ内容ハ巴里賠償會議ニ於ケル英國案ニ對スル同氏ノ反駁論ト略同様ニ付之ヲ略シ唯其ノ要旨ヲ擧グレバ左ノ如シ

吾人ハ最早忍耐シ尽セリ、余ハ凡ユル交譲ノ手段ヲ講ジタリ若シ英國案ニシテ仏國ノ利益ニ反セザルモノナリセバ余ハ之ニ同意シタルナランモ英國政府ハ独逸債務減額並独逸ヲ信任セルコトヲ基礎トセル案ヲ齎セリ、余ハ Bonar Law ガ其ノ意志ヲ明瞭ニセルヲ感謝セルモ英國ハ「ヴェルサイユ」條約殊ニ第二三三三条、第二四〇条及第二四三条ヲ破壊スルモノト云ハザルヲ得ズ、然カモ同條約ハ我國法ナルト共ニ國際條約ニシテ之ガ締結ト同様ノ状態ノ下ニ於テスルニアラザレバ之ガ修正ヲ為スヲ得ズ、仏國兵ノ鮮血ヲ以テ調印セラレタル神聖ナル條約ヲ一朝ニシテ連合國自ラ之ヲ

破棄スルノ例ヲ示サバ條約ノ価値何處ニカアル、英國案ハ独逸ヲシテ将来歐州大陸ニ於テ覇ヲ唱ヘシムルモノニ外ナラズ、白伊両国ハ吾人ト共ニ英國案ヲ拒絶セリ、英國ハ担保ノ取得ヲ以テ独逸ノ財政復興ト相容ルベカラザルモノトシテ反対シ之ガ調停トシテ銀行家委員会ヲ提議セルガ國際的銀行ヲシテ諸国政府間ノ仲裁者タラシムル如キハ認容スルヲ得ズ、余ハ決シテ斯ノ如キ方法ヲ採用セザルベシ、這般ノ事情ノ下ニ一時の曖昧ナル協定ヲ試ムルガ如キ危険ナリ Entente ハ凡テノ問題ニ対シ完全ナル一致ヲ必要トスルモノニアラズ、英國ハ已ニ其ノ例ヲ示セルニアラズヤ、各國政府ハ同盟ヲ破ルコトナクシテ其ノ自由ヲ留保シ得可ク、英國ハ其ノ自由留保ノ例ヲ示セルモノ少シトセズ、同盟ハ之ガ為ニ破ルルモノニアラズシテ両国間ノ不滅ノ記念及恒久利益ノ上ニ存続ス

独逸ノ義務履行ノ意思ナキ証拠充分ニシテ仏國ハ條約実施上担保ヲ執ルノ権ヲ有ス、我友邦英國ハ吾人ニ対シ独逸ノ支払ヲ俟ツベシト云フモ我予算ヲ如何ニセンヤ又我荒廃地ヲ如何ニセンヤ独逸不履行確認ハ Bonar Law 氏ノ願ニ依リ延期セラレ居タリ、今ヤ賠償委員会ハ之ヲ確認シタルヲ

以テ吾人ハ自ラ炭坑ニ赴カザル可ラズ、之ニ関スル條約規定ニ就テハ曩ニ Chamberlain 氏モ議會ニ於テ認メタル処ニシテ吾人ノ Essen 占領ハ吾人ノ権利ヲ行使スルモノニ外ナラズ、吾人ノ担保取得ニ就テハ我友邦白國モ參加シ又伊国モ技師ヲ送レリ、(此時議員一同總起立、外交官席ニ於ケル白伊代表者ニ対シ拍手喝采セリ)吾人ハ吾人ト共ニ行動ノ為ニ行動スルモノニアラズシテ連合國共同利益ノ為ニスルモノナルヲ以テ總テノ連合國ニ対シテハ吾人ト共ニ行動ノ余地アリ、独逸 Kolenydiat ノ逃亡ハ其ノ詐欺ノ証拠ヲ隠サントスルモノナリ、又独逸政府ハ大使ヲ引揚ゲシメタルモ代理ヲ残セリ、若シ独逸ニシテ反抗セントスルトキハ占領ヲ永引カシム

米國軍隊ノ「ライン」撤退ハ既ニ久シク予見セラレタル所ニシテ六月以来独逸政府ノ要求ニ依リ一時殘留セルモノナルカ米國上院ニ於ケル動議モ今次事件前ノ事ニ属シ何等非友誼的ノ意味ナシ
「ルール」ニ派遣セル我技術員ハ若シ總テノ連合國カ吾人ト行動ヲ共ニスルニ於テハ軍隊ヲ参加セシムルノ要ナカリシナルヘキモ吾人ハ單獨行動スル以上吾人ノ安全ノ為包囲

半敵の新ナルカ得サリシナニ

英國ノ参加ナクシテハ担保、其參加トル場合ノ如キ効果ヲ
得カラサルハ即ニ起タル所ナルヤ最小限度ノ効
果ナキニ優ル、
該担保ノ獨逸政府及大工業家ニ対スル庄
迫ノ為行フ事ノニシテ何等獨逸ニ打撃ヲ蒙ルハメ又ノトナ
廢棄セシムルノ意志ナク先づ其神人ニ據ス、キ木村及石炭
ヲ得シテベル、外ナクス神人ノ獨逸ノ財政復活ニ対スル改
良ノ希望ハカ為リ、
若シ彼ニシテ善意ヲ示ス、於テ獨
逸及連合國ト協議ベシ、
英、米、独、瑞士、韓國、海牙、聯華、
逸及連合國ト協議ベシ、
英、米、独、瑞士、韓國、海牙、聯華、

一〇六 一月十一日 在本邦獨國大使館

英國ハユーネ撫理ニ在スル英國政府ノ抗議書

Deutsche Botschaft Tokio, den 12. Januar 1923.

Nr. 12.

Herr Minister,

Im Auftrage meiner Regierung habe ich Eurerer

Exzellenz folgende Mitteilung zu machen:

Der Französische Botschafter und unmittelbar dar-

französisch-belgische Armeen die Stadt Essen und Teile des Ruhrgebiets besetzen wird.

Dies geschieht 4 Jahre nach dem Friedensschluß gegenüber einem wehrlosen friedlichen Volke.

Als Grund für diese Aktion wird angegeben, daß Deutschland in dem eben vergangenen Jahre 1922 mit seinen Kohlen- und Holzlieferungen rückständig geblieben sei. Der Rückstand stellt bei den Kohlen einen Fehl- betrag dar, der einen geringfügigen Bruchteil der Kohlenlieferungen Deutschlands an die Entente seit dem Waffenstillstand beträgt. Von den Holzlieferungen an Frankreich haben nur 20,000 Kubikmeter Schnitholz und 135,000 Telegraphenstangen gefehlt.

Gestützt wird das Vorgehen Frankreichs und Belgiens darauf, daß eine vorsätzliche Verfehlung Deutschlands vorliege und daß diese vorsätzliche Verfehlung jene beiden Mächte zu einseitigen Zwangsmaßnahmen gegen Deutschland berechtige.

Das Vorliegen einer Verfehlung wird nicht nur von Deutschland allein bestritten. Aber ganz abgesehen hiervon stellt die französisch-belgische Aktion in drei-

auf der Belgische Geschäftsträger haben dem deutschen Reichsminister des Äußern gestern nachmittag schriftlich und mündlich eröffnet, daß Frankreich und Belgien wegen der von der Reparationskommission festgestellten Verfehlungen Deutschlands bei den Holz- und Kohlenlieferungen beschlossen haben, alsbald eine Kontrollkommission von Ingenieuren, begleitet von den nötigen Truppen, in das Ruhrgebiet zu senden, um die Tätigkeit des deutschen Kohlen-Syndikats zu überwachen, eine strenge Durchführung des Programms der Reparationskommission sicherzustellen und um die Zahlung der Reparationen durchzusetzen.

Die Kontrollkommission von General Degoutte geführt, wird mit diktatorischen Vollmachten ausgestattet. Oertliche Zu widerhandlungen werden mit strengsten Zwangsmassnahmen und Strafmaßnahmen bedroht.

Der deutsche Reichsminister des Äußern hat bei beiden Vertretern gegen die angekündigte Aktion protestiert, weil sie einen Bruch der Verträge und der Satzungen des Völkerrechts darstellt.

Nach den Eröffnungen Frankreichs und Belgiens ist nicht daran zu zweifeln, daß spätestens heut eine

facher Beziehung einen Bruch des Versailler Friedensvertrages dar;

1. Versäumnisse Deutschlands in der Holz- und Kohlenlieferung würden nach der Note der Reparationskommission vom 21. März 1922 nur die Forderung von Nachzahlungen rechtfertigen, 2. der Vertrag von Versailles lässt überhaupt keine territoriaLEN Sanktionen zu,
 3. auch die nach dem Vertrage zulässigen Maßnahmen gegen Deutschland können nur von den alliierten Mächten gemeinsam, nicht aber von einzelnen Mächten auf eigene Faust getroffen werden.
- Die deutsche Regierung legt gegen die vertragswidrige und völkerrechtswidrige Vergewaltigung Deutschlands hiermit Verwahrung ein. Sie beabsichtigt weder der Gewalt mit Gewalt zu begegnen, noch den Vertragsbruch mit Loslösung vom Vertrage zu beantworten. Solange der vertragswidrige Zustand dauert, ist Deutschland jedoch nicht in der Lage, positive Leistungen an diejenigen Mächte zu bewirken, die jenen Zustand herbeigeführt haben.

Genehmigen Sie, Herr Minister, die erneute Ver-
sicherung meiner ausgezeichneten Hochachtung.
Seiner Exzellenz
dem Kaiserlich Japanischen Minister
der Auswärtigen Angelegenheiten
Herrn Grafen Uchida.

Solt.

(右和訳文)

第十一号
以書翰致啓上候陳者本国政府ノ訓令ニ依リ本使ハ閣下ニ対シ次ノ通牒ヲ為スベク候
仏國大使及之ニ引続キ白國代理大使ハ昨日午後独逸国外務大臣ニ對シ書面及口頭ヲ以テ「仏國及白國ハ賠償委員会ニ依リ確定セラレタル独逸ノ木材及石炭供給不履行ヲ理由トシテ独逸ノ石炭「シンデケート」ノ活動ヲ監視シ賠償委員会ノ計画ノ嚴重ナル遂行ヲ確保シ及諸賠償ノ支払ヲ達成スル為必要ナル軍隊ヲ帶同セル技術者ヨリ成ル監督委員会ヲ速ニ「ルール」地方ニ派遣スルコトヲ決議セリ「ドュグット」將軍ノ率ユル右監督委員会ハ独裁的全權ヲ与ヘラレタリ、地方的反抗行為ハ最嚴重ナル強制措置及刑罰ヲ科セラルモノトス」トノ旨ヲ開陳セリ

右ハ平和締結四年後ニ於テ武備ナク平和的ナル国民ニ對シ行ハルモノナリ
右行動ノ理由トシテハ独逸力恵モ経過セル一九二二年中石炭及木材ノ供給ヲ怠リタルコト舉ケラレタリ右懈怠ハ石炭ニ在リテハ独逸ノ連合側ニ對スル休戦以来ノ石炭供給ノ僅少ナル一部分ニ該ル不履行額ヲ示セリ、仏國ニ對スル木材供給ニ就テハ截切材木二万立方米突及電柱十三万五千本丈不足スルノミナリ

仏國及白國ノ行動ハ独逸ノ故意ノ不履行存在スルコト及右故意ノ不履行カ前記両強國ランテ独逸ニ對シ一方的ナル強制措置ヲ加フルノ権利ヲ有セシムルコトニ立脚セリ
不履行存在スルヤ否ヤハ單ニ独逸ノミヨリ否認セラルモノニ非ラス然レトモ全然右事実ヲ離レテ仏白ノ行動ハ三重

第一一號 (一月十四日接受)

ノ関係ニ於テ「ヴェルサイユ」平和条約違反ヲ示セリ
一、木材及石炭供給ニ於ケル独逸ノ懈怠ハ一九二一年三月二十一日付賠償委員会ノ公文ニ基キ单ニ追加支払請求ノ権利ヲ与フルモノニ過キサルヘシ
二、「ヴェルサイユ」條約ハ何レノ領土的制裁ヲモ許サス
三、条約上許容セラルル独逸ニ對スル措置モ亦同盟諸強国ニ依リ共同ニノミ適用セラレ得ベク各箇ノ強国カ自力ニ依リ適用シ得ヘキモノニ非ラス
独逸政府ハ条約ニ違背シ及國際法ニ違背スル右独逸國ニ對スル暴行ニ對シ茲ニ抗議ヲ提出ス、独逸政府ハ暴ニ報ユルニ暴ヲ以テスルコトヲモ又条約違反ニ對シ条約ヨリノ脱退ヲ以テ答フルコトヲモ意図セス、然レトモ条約違反ノ状態繼續スル限り独逸ハ右状態ヲ招致シタル諸強国ニ對スル積極的給付ヲ為スノ地位ニ非ラス此段申進旁本使ハ茲ニ閣下ニ向テ重ネテ敬意ヲ表シ候 敬具

一一〇 一月十三日 在伊国藤井臨時代理大使ヨリ

ルール問題ニ關スル伊国外務大臣官房長ノ内

話題領報告ノ件

III フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一一〇

越テ今十二日午後外務省ニ訪問ノ際同官ハ再前記ノコトヲ云

繰返シ本件ニ関スル伊国ノ行動ハ依然「ムッソリニ」覺書

ニ依ルベシト述べタル後更ニ語ヲ進メテ吾人ガ仏国ヲ支持スルハ全然經濟上ノ見地ニ於テナリ仏国ガ其ノ名義ノ如何

ニ拘ラズ五万ノ大兵ヲ動カシタル点ハ全然吾人ノ同意シ得

ザル処ニシテ余リ *pousser* シ過ギタルモノト思考ス、斯ク

スルモ仏国ハ結局独逸ヨリ何物ヲモ得ザルベク多少之ヲ得

ルトスルモ五万ノ大兵ヲ動カスニ要スル費用ハ実ニ莫大ニ

シテ之ヲ償フニ足ラザルベキヲ恐ル、吾人ハ目下仏獨両國ニ

ニ対シ解決方法ニ就テ折角勧誘尽力中ナリト語リタルニ付

本官ハ果シテ解決ノ見込アリヤト尋ネタルニ何人モ予見シ得ズト雖要ハ仏獨両國ノ態度殊ニ独逸ノ出方如何ニ在リ、

独逸ニシテ此際例ヘバ義務額ノ全部ヲ支払ヒ得ズタルモ少ク共其ノ大部分ヲ支払ヒ得ザルコトナシ、戰前独逸ガ大軍ヲ養ヒタル費用ハ實ニ巨額ニシテ今回ノ賠償額ヲ超ユルコト遙ニ大ナリ今ヤ独逸ニハ如上ノ負担ナキヲ以テ例ヘバ

同國ノ現況非ナルモノアリトスルモ今回ノ賠償義務額ノ大部分ハ之ヲ支払ヒ得ザルコトナシト信ズ、兎ニ角独逸人ハ

sens psychologique & *sens politique*ヲ欠クヲ以テ目下ノ處如何ニ落付クベキヤ逆睹シ難シ云々答へタリ、御參

考迄

但、右ハ日頃ノ親交ニ鑑ミ同官ノ忌憚ナキ内話ニ付其ノ御

含ニテ御取扱ヲ請フ

在欧米各大使並旁山へ転電セリ

一一 一月十三日 在独國日置大使（電報）

ルールニ対スル仏白ノ措置ニ関スル獨国外相

ノ反駁回答文報告ノ件

第一一號 （一月十四日接受）

仏発大臣宛第三二号ニ關シ十二日當國外務大臣ハ仏白使臣ニ対シ左記要領ノ同文回答ヲ手交セリ

第一、賠償委員会ノ決定及平和條約第八編付屬書二第十七条及第十八条ノ規定ハ共ニ「ルール」地方ニ於ケル仏

白這回ノ措置ニ何等法律の根拠ヲ与フルモノニ非ズシテ右措置ハ國際法及平和條約違反ナリ蓋シ賠償委員会

ノ決定ニ依レバ木材及石炭供給ノ懈怠ノ場合ニハ現金支払ヲ要求シ得ルノミ又第十七条及第十八条ニ依ルモ

單ニ財政及經濟的ノ措置又ハ之ト其ノ性質及価値ヲ等シウスル措置以外ニ出ズ可カラズ而シテ右措置ハ連合

国ガ其領土内ニ於テ行ヒ得ルモノニ止マリ今回仏白ノ措置ノ如キハ之ヲ行フ事ヲ得ザルナリ又苟モ之等ノ措置ハ賠償ニ關係アル列国協同ニ行ハル可ク各一国ニ單獨行動ヲ許サザルナリ

第一、仏白這回ノ措置ヲ以テ何等軍事措置又ハ政治的占領ヲ目的トスルモノニ非ズト強弁シ居ルモ戰時的組織及武装トヲ有スル軍隊ガ独逸被占領地帯ニ侵入シ居ルノ事実ハ這回仏白ノ措置ガ軍事行動ナル事ヲ明カニスルモノナリ

第一六號
一二一 一月十六日 在仏國松田臨時代理大使宛（電報）
仏白両國ノルール占領ニ關シ獨國大使ヨリ精

神的援助要望ノ件

第一、仏白這回ノ措置ハ独逸ガ一九二二年度ニ於テ比較的小額ノ木材及石炭供給ヲ遲滯シタル些事ヲ以テ唯一ノ軍隊的理由ト為シ居レリ

第四、独逸政府ハ這般強力行為ニ敵対スル能ハズト雖右行為ニ順応シ又ハ仏白ノ目的遂行ニ協力スルノ意志ナシ右條約違反ノ状態ノ存続シ且其事實上ノ結果除去セラレザル限り独逸ハ右状態ヲ招起シタル諸國ニ對シ給付ヲ為ス事能ハズ

英、仏、旁山へ郵報ス

及木材ノ引渡不履行ヲ理由トスル次第ナルヲ以テ何等斯ル張スルヲ指摘シタルニ独大使ハ今回仏國ノ擧ハ少量ノ石炭

第一〇号

重大ナル措置ニ出ツル要ナキノミナラス占領ハ同規定ニ依ルヘキモノニ非スシテ第十四編ノ規定ニ依ルヘキモノナリトテ其ノ条約違反ナルコトヲ重ネテ弁明シ独逸ハ之カ為メ仏白両国ニ対シテハ平和条約ニ基ク義務ヲ履行シ得サルコトヲ主張スル次第ナルモ世間ニ誤伝セラル如ク其他ノ諸国ニ対スル義務ヲモ無視スル訳ニハ非ス又伊国ノ本件ニ対スル態度ニ就テハ何分ムソリニ氏ノ意嚮鮮明ヲ欠ク為メ未タ確タル見込付キ難シト語リ最後ニ日本政府ノ本問題ニ対スル所見ヲ求メタリ依テ本大臣ハ日本政府ハ未タ本問題ニ付キ詳細ノ報告ニ接シ居ラス事実ノ真相ヲ審ニセサルヲ以テ只今即答スルヲ得ス只斯ノ如キ不幸ナル出来事ノ發生ハ世界平和ノ為遺憾ニ堪エサル次第ナリト挨拶シ置ケリ尚同大使ハ独逸トシテハ日本政府カ本問題ニ付キ独逸ニ対シ精神的ノ援助ヲ与ヘ仏國ノ行動ノ違法ナルコトヲ確認センコトヲ希望シ居ル旨ノ口吻ヲ洩セリ在歐米各大使ニ転電セラレタシ

一一三 一月十六日 内田外務大臣ヨリ
在英國德川臨時代理大使宛（電報）
仏國ノルール占領ニ対スル英國政府ノ態度確

貴電第一五号ニ閲シ貴官ハ至急外務當局ニ面会ノ上今回仏國ノ行動ニ対シ英國政府ハ果シテ貴電ノ通り傍観的態度ヲ執ル積ナリヤ又独逸大使ノ抗議ニ付テハ如何ナル措置ニ出ヅベキ意嚮ナリヤ御確ノ上回電アリ度シ本電並ニ回電共参考トシテ歐米各大使ニ転電アリ度シ

一一四 一月十六日 在本邦仏國大使館參事官会談

ルール問題ニ關シ田中次官ト仏國大使館參事

官トノ会談要領ノ件

一月十六日仏國大使館參事官 De Béarne ハ田中外務次官ヲ來訪シ仏國政府ハ「ルール」地方ニ於ケル仏白両國ノ行動ニ付仏國政府ノ立場ヲ説明セル公文ヲ在巴里各國使節ニ交付シタル筈ナルカ日本政府ニ於テモ已ニ右公文ノ趣旨ヲ承知シ居ラルルヤト尋ネタルニ付田中次官ハ然ル旨ヲ答ヘタルニ先方ハ進テ仏國ノ「ルール」地方ニ対スル行動ハ何等カ回答セラレタリヤト尋ネ回答セラルル場合ニハ白國側ニモ通報アリタキ旨ヲ申出テタリ

テハ前記ノ如キ考ノ下ニ「ルール」問題ニ対スル我態度ヲ決セントシ居ル次第ニハ非スト説明セラレタリ尚同日白國大使館書記官「スクテット」ハ大使病氣ノ由ヲ以テ代テ外務次官ヲ來訪シ独逸ノ公文ニ対シ日本政府ヨリ何等カ回答セラレタリヤト尋ネ回答セラルル場合ニハ白國側ニモ通報アリタキ旨ヲ申出テタリ

一一五 一月十六日 在仏國奧山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

独國ノ石炭引渡中止ハヴェルサイユ條約不履行ナル旨賠償委員會ヨリ英仏伊白政府ニ通告ノ件

第五一号

（一月十七日接受）

賠償第三四六号

最後ニ同參事官ハ過日「ジャパン・タイムス」ニ外務當局員談トシテ仏白今回ノ行動ノ結果トシテ露独ノ提携ヲ誘起スヘキヲ恐レ居ラルルヤノ記事アリタルカ外務當局ニ於テハ果シテ右ノ如キ考ヘヲ有セラルルヤト問ヒタルニ依リ田中次官ハ新聞紙ニ記載セラルル所謂當局談ナルモノニハ余リ重キヲ置カレサルコトヲ希望ス現在ノ処我外務當局ニ成スルモノニシテ独逸ノ陳述ヲ聽ク必要ナシトシ三対一

(英國棄権)ヲ以テ直ニ不履行ノ確認ヲナシ英、仏、伊、

白政府ニ通告セリ尚英國側ハ本會議ニ出席セルモ討論及投票ヲ控ヘタルカ英國側ヨリ聞込ム所ニ依レハ「ノルール」占領後ノ仕事問題ニ関シテハ英國側ハ今後共同様ノ態度ニ出ツルノ外已ムヲ得サルヘシト

在歐米各大使、「ロザンヌ」ヘ転電セリ

一一六 一月十七日(着) 在英國德川臨時代理大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

ルール占領ニ対スル英國政府ノ態度ニ關シ回

報ノ件

第二二号

貴電第一〇号ニ關シ外務次官ハ最近「ローザンヌ」ニ出張次官補ハ同地ヨリ帰國シタルモ夫人重病看護ノ為メ欠勤ニ付一月十六日中欧部長ヲ往訪御来示ノ二点ヲ質ネタルニ仏白今回ノ措置ニ關シテハ英國政府ハ之ヨリ生スル如何ナル惡結果ニ對シテモ其責ニ任セアルコトハ兩國政府ニ対シ再三明ニシアリ夫以上何等立入りタル態度ニ出ツル考ヘ更ニナキ旨並独逸ノ抗議ニ対シテモ何等措置スル限りニアラサル旨答ヘタリ

在歐米各大使、「ロザンヌ」ヘ転電セリ

一一七 一月二十一日 在獨國日置大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

仏白ノルール占領ニ対スル獨國政府ノ態度ニ

関スル獨国外相談話ノ件

第一六号

仏白ノ「ノルール」占領ニ伴フ重大ナル危機ヲ展開セン為独逸政府カ何等新ニ画策スル處アリヤ又ハ外部ノ斡旋等存セ

サルヤヲ知ラン為十九日外相ヲ訪問セリ

先方談ノ要領左ノ通り

一、英米伊等ノ大使等ハ何レモ独逸ニ対シ常ニ厚キ同情ノ

言ヲ発セラルモ未タ居中調停ト云フカ如キ具体的提議ニ接シタルコトナシ尤モ伊大使ハ去ル十七日本國政府ノ訓令ニ依リ速ニ此ノ陰惡ナル時局ヲ收拾セシムルノ利益ヲ説キ仏白トノ交渉ヲ開始センコトヲ勧告セラレタルモ現在ノ威圧ノ存スル限到底其ノ不可能ナル旨ヲ答ヘタリ而シテ之トテモ居中調停ト云フカ如キモノニ非ス独逸政府ハ時局ニ伴フ影響ノ重大陰惡ナルヲ知ル而モ仏白ノ暴力ニ対スル方策ハ所謂消極的抵抗ノ他無キヲ確信スルモ

三、去ル十八日白國公使休暇帰國中ノ処帰任シタルニ付挨拶ニ参リタルガ緊張シタル言辞ヲ以テ独逸ノ不信ヲ彈劾シ仏白行動ノ已ムヲ得ザルニ出デタルヲ論ジ且ツ独逸ノ肺腑ヲ握リタルヲ誇リ同國ノ賠償問題ニ対スル態度ノ変ゼザル限り仏白ハ永久ニテモ居座ル可シト語レリ

英、仏ヘ転電シ、伊、白ヘ暗号ノ儘郵送セリ
ノヲ從業者ノ意志ニ反シ外國人ノ手ニテ經營セントスルガ如キハ到底不可能ナリ(二)仏國ハ其ノ財政經濟ニ及ボス可キ悪影響ニ堪ヘ得ザル可シ(三)世界全般ノ輿論ニ斯ク迄反対セル政策ハ決シテ成功スベキモノニ非ズ元來「フォシュ」ハ「ノルール」占領ニ反対ナレバ「ボアンカレー」ノ迅速ナル成功ヲ見ザレバ内訌ノ憂アリ將又仏國ノ「ノルール」地方併合ニ反対スル英國ノ伝統的政策ハ今尚毫モ変更シタル事無ク伊國政府ヨリ再度迄居中調停ノ提議アリタルモ英國政府ハ斷然之ヲ拒絶セリ尚又巴里會議ニ提出ノ英國案ニ關シテハ其ノ余リニ理論一片ニ偏リ人情ト歴史的関係ヲ度外視シタルハ欠点ナリ元來「ブラッドベリー」ノ如キ大蔵省ノ役人ハ世間ニ關スル智識ヲ欠ク為斯ル失敗ヲ招ク事往々アリ云々ト語レリ

一一八 二月二十七日 在英國林大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

ノルール占領問題ニ伴フ時局ノ形勢ニツキ報告

一一九号 極秘

仏白ノ「ノルール」占領ニ伴フ時局ノ形勢ヲ通觀スルニ一、仏政府當局ハ今尚口ニハ「ノルール」占領ハ賠償ノpledgeヲ得ル為ニ外ナラストハ称スルモ其実独逸産業ノ枢軸ヲ抑ヘ依テ以テ独逸ノ対仏復讐力ヲ失ハシメ仏國将来ノ安全ヲ圖ルノ念其動機中ノ最主要ナル部分ヲ占ムルコトハ何人ト雖モ容易ニ観取シ得ル処現ニ「ミルラン」
「サロー」「バルツー」ヲ初メトシ仏國內部ニ於テ本件ニ關連シ仏國ノ「セキュリチー」ヲ高唱スル者漸ク多カ

ラントスル形勢アリ永久ニ同地方ヲ独逸ヨリ切離スコトハ仏ノ衷心希フ処ト云フヘク仏白ノ占領後ニ於ケル独逸ノ態度ハ仏國ノ此ノ希望ヲ満スニ却テ有利ニシテ本使ノ觀ル処ニ拠レハ仏國ハ「ルール」ニ留マリ今後同地方ヨリ撤退スルコトハ先ツ之ナキモノト考ヘラル最近仏国内ニ時局收拾ノ為メ仏獨間ニ条約締結ヲ主張スルモノアルカ「ブチパリヂアン」ハ仮令右主張ノ如ク仏獨間ニ「ヴエルサイユ」条約ヲ補足スル条約ノ締結カ実現セラルルトスルモ右条約ニ於テ仏カ賠償問題ニ付思ヒ切リタル讓歩ヲ為スヘシトハ想像セラレス右条約ニハ依然独逸ノ履行不可能ナルカ如キ賠償条項規定セラルヘキカ故ニ其ノ条項保障ノ為メニスル「ルール」ノ事實上ノ占領モ相変ラス繼續シ從テ前述ノ事態ハ何等変更無カルヘシ

二、仏白ノ此ノ挙ニ対シ英國ハ傍観ノ態度ヲ繼續スルモ國內ニ「ルール」占領ニ慷慨ラサル分子アルハ屢次ノ往電ニテ御推読ノ通リナルカ仏白カ今次ノ行動ヲ開始セサル当初ニ於テハ英國ノ態度一ツニテ或ハ其行動ヲ止メ得タリシヤモ知レサルモ今日トナリテハ英國トシテ仏國ヲ「ルール」ヨリ逐ヒ出ス力無ク撤退ヲ云為スルモ悪感ヲ挑發

スルノ外差シタル効果ヲ齎スヘシトモ思ハレス將又自由党及労働党側ニ於テ主張シ若クハ往電第一一八号保守党員ノ投書中ニ含蓄セラルルカ如ク本件ヲ連盟ノ議ニ付シ解決ヲ得ントスルコトモ仏國ノ承諾セサルコト明白ニシテ目的ノ達成困難ナルヘシ本使ノ觀ル処ニテハ本件ニ關シ英國カ最初ニ断然仏白ノ此ノ挙ヲ阻止セサリシハ実ニ一步ヲ謬リタルモノニテ其ノ結果今ヤ「ルール」一帯ハ仏國ノ自由ニ委セサルヲ得サル破目トナリタリト観測ス三、次ニ仏白カ自己ノ安全ヲ保障スル為独逸産業ノ枢軸ヲ押ヘ之ヲ独逸ヨリ隔離スルノ結果独逸ノ支払能力ハ益々減却シ賠償ノ支払ハ事實上不可能トナルノミナラス他方「ルール」地方ノ產炭木材等ハ仏白占領軍費ノ支払仏白ノ取分ニ充当ノ結果伊国以外ノ賠償利害關係國ハ事實上配分ニ預ルヲ得サルモノト見サルヘカラス（現ニ仏國內ニ於テ是等ノモノハ占領ニ関与セサル國ニ配分スヘキ筋合ニ非ス配分ニ預ラントスレハ占領ニ関与スヘシト公言スル者多々アリ）從テ賠償問題ハ仏白占領ノ結果事實上虛無ニ帰セシメラレタルモノト見ルヘシ本使ノ見ル所ニテハ帝国ノ賠償權ノ如キハ最早此ノ為終局的ニ實現セサ

来財政上困憊ヲ感スルノ時機到来スヘク英國カ「ルール」ヨリ仏ノ撤退ヲ強制シ得サル事態ト相俟テ國際政局上ニ如何ナル「コンプリケーション」ヲ生スルヤニ付テハ今日ノ所予想スルヲ得ズ

在欧各大使ヘ暗号ノ儘郵送セリ